

## A 数と計算「A ( 3 ) 乗法ア ( イ )」

2けたの数のかけ算で身に付けた筆算の知識及び技能を活用・発揮し、目的に合う式をつくる問題のアイデア

### ねらい

目的に合う式をつくる活動を通して、2けたの乗法の積を筆算で求めることができる。

### 学習課題 (めあて)

答えが一番大きく (小さく) なるかけ算の式をみつけよう。

## 問題のアイデア

【問題】『□にあてはまる数は？』

1から4までの4つの数字  
を1回ずつ使って、(2けた)  
× (2けた)の式をつくります。

答えが一番小さくなる式と、  
答えが一番大きくなる式をつ  
くりましょう。

$$\begin{array}{r} \square \square \\ \square \square \\ \times \square \square \\ \hline \end{array}$$

【答えが一番小さくなる式】

$$\begin{array}{r} \square \square \\ \square \square \\ \times \square \square \\ \hline \end{array}$$

【答えが一番大きくなる式】

$$\begin{array}{r} \square \square \\ \square \square \\ \times \square \square \\ \hline \end{array}$$

## 解答

【答えが一番小さくなる式】

$$13 \times 24 = 408$$

【答えが一番大きくなる式】

$$32 \times 41 = 1312$$

## 問題の魅力

- 2位数  $\times$  2位数を被乗数や乗数の大きさを考え、試行錯誤しながら既習事項である筆算の仕方の定着を図ることができる。
- 連続する5つの数字で3位数  $\times$  2位数の類似問題や連続する4つの数字を変えた類似問題を見童がつくり、互いに解き合うことができる。